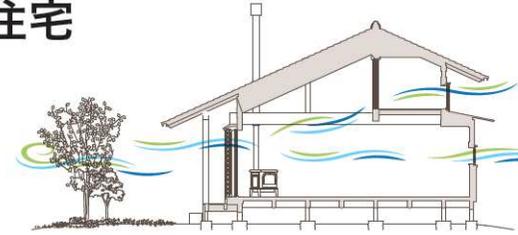


サステナブル建築物等先導事業

気候風土適応型住宅 事例集



KKJ気候風土適応住宅シンポジウム 2024年9月2日

3 『気候風土適応型住宅 事例集』の紹介

<https://kkj.or.jp/kikouhuudo/pdf-viewer/external/pdfjs-2.1.266-dist/web/viewer-a4.html#zoom=page-fit>

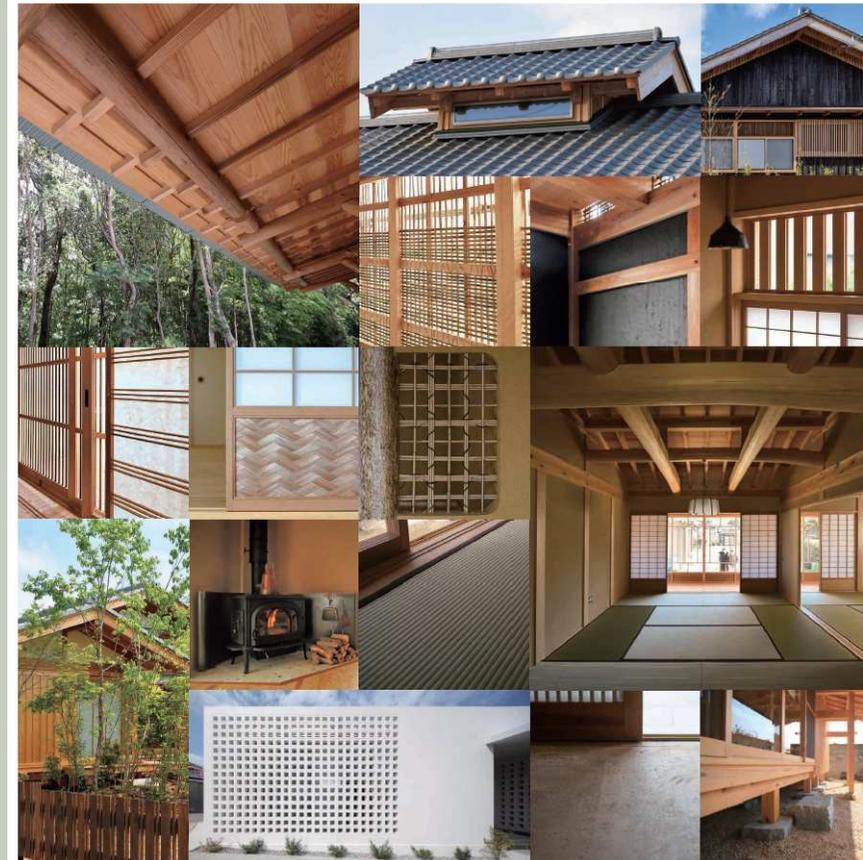
事例詳細版: 気候風土適応型住宅平成28年度～令和2年度採択の事例デジタルブック

https://kkj.or.jp/kikouhuudo/pdf-viewer/external/pdfjs-2.1.266-dist/web/viewer-jirei_digital_r2.html#zoom=page-fit

～2023年度 サステナブル建築物等先導事業(気候風土適応型) 評価委員会
2024年度 気候風土適応住宅の独自基準策定に係る課題の調査等の検討
のための委員会

鈴木 大隆

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事



一般社団法人 環境共生住宅推進協議会

平成28年度～令和5年度までの サステナブル建築物等先導事業(気候風土適応型) 応募・採択・検証住宅

R1申請分までは旧地域区分で記載

地域区分	応募件数	採択件数	性能検証件数
2地域	1	0	0
3地域	0	0	0
4地域	3	2	1
5地域	11	6	5
6地域	41	25	16
7地域	7	7	2
8地域	4	4	3
計	67	44	27

本事業採択住宅の対象地域及び戸数 (平成28年度～令和5年度)



*採択後に事業中止等の5件のプロジェクトを含む
**事業中止等となったが建設された2件のプロジェクトを含む

事例集 構成1

目次

第Ⅰ章 気候風土適応住宅とサステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型） 1

1 気候風土適応住宅 2

- 1 気候風土適応住宅とは
- 2 気候風土適応住宅の位置づけ
 - 気候風土適応住宅に関する基準（告示第786号）
 - 国が定める基準の概要
 - 国が定める要件に所管行政庁が必要な要件を付加した基準の概要
 - 所管行政庁が定める基準の概要

2 サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型） 7

3 本事業採択住宅の概要 8

- 1 本事業採択住宅の概要と地域特性との関わり
 - 冬期への対応
 - 夏期への対応
 - 地域の文化・技術の継承等への対応
- 2 「気候風土への適応要素」一覧
- 3 「環境負荷低減対策」一覧

第Ⅱ章 事例紹介 15

1 本事業採択住宅の対象地域及び戸数 16

2 本事業採択住宅の一覧 17

3 事例紹介ページの読み方 18

本事業採択住宅の事例紹介 20

本事業採択住宅の紹介内容

◎1事例4ページ

- P1 外観写真・内観写真・設計概要
 - 地域の気候風土への対応
 - 地域の気候特性
- P2 気候風土への適応と環境負荷低減対策
 - 採用状況・要素と対策
- P3 建物の特徴と仕様
 - 炬計図・プランニングの特徴・エネルギー性能・設備仕様・外皮仕様
- P4 居住環境
 - 室温の推移・冬の暮らし、夏の暮らし

第Ⅲ章 本事業採択住宅のエネルギー消費性能 113

1 エネルギー消費の実態（実測値の比較） 114

2 建設地を考慮したエネルギー消費量評価 118

- 1 評価方法
- 2 本事業採択住宅の一次エネルギー消費量【実測値】
- 3 省エネ基準WEB評価一次エネルギー消費量【建設地補正】の算出
- 4 本事業採択住宅の評価

3 まとめ 123

付録 1 先導事業の概要 125

令和4年度「サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）」の募集要項・補助金交付申請等マニュアルより

1 事業の概要 126

- 1 事業の応募・採択状況
- 2 事業の内容
- 3 事業の流れ

2 実施体制 134

- 1 事業の基本的な実施体制
- 2 評価の実施体制

付録 2 気候風土適応住宅に関する法令等（抜粋） 137

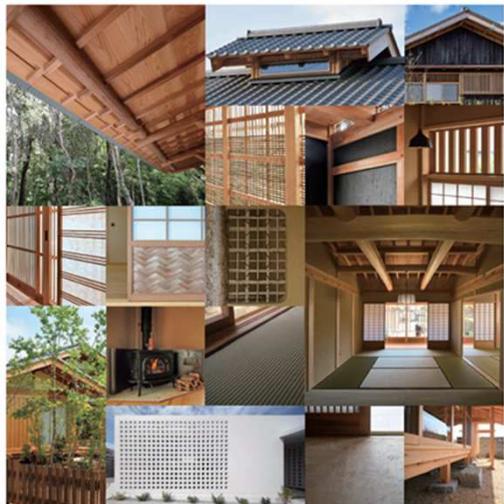
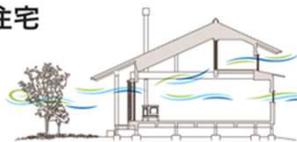
改正後の基準省令附則第2条 気候風土適応住宅の場合の外皮基準の適用除外
告示第786号 気候風土適応住宅であり外皮基準に適合させることが困難であるものを定める基準
改正後の算出告示 附則第2項 合理化された一次エネルギー消費量基準
国住建環第65号（技術的助言） 気候風土適応住宅の認定のガイドライン
国住建環第151号（技術的助言） 第3 2. 気候風土適応住宅の仕様例示

参考とした資料 148

- 第1章 参考とした資料
- 第3章 参考とした資料

サステナブル建築物等先導事業

気候風土適応型住宅
事例集



3 「環境負荷低減対策」一覧

表1-3に本事業採択住宅が採用している「環境負荷低減対策」を一覧表で示す。いずれの住宅においても、A.建物や外部環境による対策、B.暮らし方による省エネ化、C.地域の環境負荷低減の多岐にわたってさまざまな取り組みが講じられている。

対策の区分	環境負荷の低減項目	凡例																			
		茨城	宮城	茨城	埼玉	千葉	東京	神奈川	長野	愛知	三重	和歌山	岡山	愛媛	高知	福岡	大分	熊本	沖縄		
A 建物や外部環境による対策	1 可変性のある居住空間 ※換気する居住空間が34㎡以上で仕切られている等																				
	2 換気空間（換気・サンルーム等） ※換気空間の空間と連続していない等、蓄熱系換気装置が期待できる空間に繋がる																				
	3 深い軒庇																				
	4 多層構造の建具（開口、ブラインド、外戸、内戸、断熱戸等組み合わせ等） ※128年長の毎年の換気量を削減																				
	5 土壁等																				
	6 土壁 ※玄関・廊下口などの比較的西側の小さい開口を除く ※土間床、仕上げ材の材料は限らない																				
	7 断熱性																				
	8 茶室さ																				
	9 木製建具 ※毛壁材など湿気などのためではないものに限る ※取り合い等の断熱防止を施しているものに限る																				
	10 床板張り ※無垢材の厚板等																				
	11 断熱 ※十分な断気性を有するものに限る																				
	12 断熱の窓の位置による遮熱に配慮した設計（地窓、高窓、ハイサイドライトの組み合わせ等）																				
	13 曇（曇りガラス）																				
	14 屋上緑化及びそれに類するもの																				
	15 敷地等緑地等の環境配慮（敷地の緑化、池・中庭・生垣・グリーンカーテン、フジ・ドウモク・花アトック等）																				
B 暮らし方による省エネ化	1 季節に応じた生活習慣（建具の入れ替え等） ※すだれ・よしずの利用																				
	2 窓・戸の閉め忘れの防止																				
C 地域の環境負荷低減	1 地域産の材料の活用（木材、自然素材、建材等）																				
	2 地域の建築職人、大工の活用																				
	3 ペレットストーブ、薪ストーブ																				
	4 雨水利用（雨水システム、雨水タンク等）																				
	5 古材・リサイクル材の利用（自然素材のリサイクル利用） ※木材、土などの内装材																				

【表1-3】本事業採択住宅が採用している「環境負荷低減対策」一覧

事例集 p10~11 気候風土への適応要素

事例集 p18 事例集の見方-2

7 プランニングの特徴

「3 地域の気候風土との対応」の他、設計計画において考慮したことや特徴を記載しています。

8 外構写真・建物写真

9 矩計図

矩計図に、屋根、外壁、床等の部位ごとに主に外皮性能に影響を及ぼす情報を記載しています。

10 エネルギー性能 (採択時)

建物の外皮平均熱貫流率※1、Webプログラム【気候風土適応住宅版】の計算による一次エネルギー消費量(その他(家電等)のエネルギー消費量を除く)、及び一次エネルギー消費性能 (BEI)※2を記載しています。

11 設備仕様

竣工時に基づく設備の仕様を記載しています。

12 外皮仕様

外皮※3に用いられている断熱材の仕様を記載しています(土塗壁や落とし込み板壁の場合は、併記しています)。開口部(窓)は建具とガラスの種類を、開口部(ドア)は建具の種類(ガラスがある場合はガラスの種類も含む)を記載しています。矩計図に表記されていない部位の外皮仕様も記載しています。

13 室温の推移

実測した冬期と夏期における、各部屋の室温と外気温のグラフです。冬期は外気温が最も低い日を中心にした前後3日間を、夏期は外気温が最も高い日を中心にした前後3日間を示しています。

14 冬の暮らし、夏の暮らし

居住者アンケート結果による「快適度」実測による室内外温度からの推測による「空調稼働率」、「着衣量(clo値)」と「居間、寝室、洗面所などの3つの部屋の温度及び湿度」を、レーダーチャートで示しています。温度と湿度は、冬期は12～2月の団らん時(19～21時)の平均、夏期は7～8月の昼間(12～15時)の平均の値を記載しています。外気の温度と湿度は、当該住宅の測定データがない場合は、建設地周辺の気象庁の気象データを使っています。なお、湿度がない観測データもあります。

2 建物の特徴と仕様

プランニングの特徴

高層に集まる居住の利便を兼ねデザインやゾーリングに注ぎ、居住の暮らしやすさを考えた集約スペースの配置も時代の流れにも合わせながら、高層の暮らしやすさを図っています。

高層の暮らしやすさを図るためにコンクリート床を厚くすることにより、床下層における換気設備の向上を図っています。

高層の暮らしやすさを図るために高層で採れた水を有効利用し、蓄(貯)水し、活用することで効率的な節水が文化を醸成しています。

エネルギー性能 (採択時)

項目	設計値	基準値
外皮平均熱貫流率 (kWh/m ² ・K)	0.54	0.75
一次エネルギー消費量 (kWh/m ² ・年)	107.0	106.5
一次エネルギー消費性能 (kWh/m ² ・年)	1.00	1.04T

* kWh/m²・年未満は小数第2位を四捨五入

設備仕様

部位	仕様
屋根	吹上屋根(裏側)・吹上・吹下(吹上)・吹下(吹下)
外壁	吹上・吹下(吹上)・吹下(吹下)
床	吹上・吹下(吹上)・吹下(吹下)
窓	吹上・吹下(吹上)・吹下(吹下)
開口部	吹上・吹下(吹上)・吹下(吹下)

3 居住環境 (実測に基づく)

室温の推移

冬期・夏期の室温推移は約7℃(約19～21時)の平均、夏期は7～8月の昼間(12～15時)の平均の値を記載しています。外気の温度と湿度は、当該住宅の測定データがない場合は、建設地周辺の気象庁の気象データを使っています。なお、湿度がない観測データもあります。

冬の暮らし、夏の暮らし

冬期 (12月)

冬期 (12月) 快適度: 70.2%

夏期 (7月)

夏期 (7月) 快適度: 75.4%

外皮仕様

部位	断熱材等の仕様	断熱性能係数 (kWh/m ² ・K)	基準値
屋根	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.258	0.24
外壁	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.026	0.24
床	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.417	0.33
窓	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.394	0.48
開口部	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.487	0.48
開口部	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.477	0.31
開口部	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.31	0.31
開口部	吹上(吹上)・吹下(吹上)・吹下(吹下)	0.31	0.31

8

10

11

12

13

14

東京都練馬区 地域の区分 6地域 第1回採択

設計者 (株)シテイ環境建築設計
 施工者等 (株)関分工務店・岡部材木店
 竣工 平成31年1月
 用途 専用住宅
 構造・階数 木造軸組・2階建
 敷地面積 264.89㎡
 建築面積 65.68㎡ (建築率 24.79%)
 延床面積 100.66㎡ (容積率 38.00%)

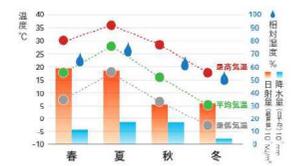
地域の気候風土との対応

建設地がある練馬区は漆喰塗り裏壁や土塗壁など伝統的工法の建物が点在するとともに、都市農業を営む畑や屋敷林が残る地域である。

冬期への対応として、大きな窓からの日射取得、続き間を仕切ることによる小空間での生活や低障子による熱損失の緩和など、暮らし方の工夫による寒さ対策を講じている。

夏期への対応として、深い軒や霧除けによる日射遮蔽、高木や地表面緑化で敷地の温度上昇抑制を図っている。

練馬の気候特性



土塗壁漆喰塗り内外裏壁仕上げを支える竹小舞下地

事例集作成で注力した部分-住宅属性

千葉県沖縄市 風と生きる 花ブロックの家

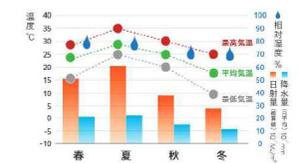
設計者 松田まり子建築設計事務所
 施工者等 (株)沖秀建設
 竣工 令和3年3月
 用途 専用住宅
 構造・階数 鉄筋コンクリート造・平屋
 敷地面積 188.66㎡
 建築面積 103.22㎡ (建築率 54.71%)
 延床面積 80.20㎡ (容積率 42.51%)

地域の気候風土との対応

建設地がある沖縄市は亜熱帯海洋性気候の蒸暑地域で、外部環境が快過温度域内にある反面、台風や猛害、紫外線が強い地域である。

夏期への対応として、高温多湿な気候に対して、土間コンクリートに断熱材を敷設することで、地中熱により室内で発生する結露を防止している。
 多方向から吹く風を取り入れ、地窓や引戸、常時開放窓によって日常空間に常に微風が流れるよう開口部の位置を計画している。

那覇 (近接地) の気候特性



白い壁を信って柔らかな日差しが流れるリビング・ダイニング

気候風土への適応

- 採用した要素
- 様式・形態・空間構成
 - 構工法
 - 材料・生産体制
 - 景観形成
 - 住まい方
 - その他

気候風土への適応

- 採用した要素
- 様式・形態・空間構成
 - 構工法
 - 材料・生産体制
 - 景観形成
 - 住まい方
 - その他

風の活用と通風、湿度への対応、昼光利用の工夫ほか

環境負荷低減対策

- 採用した要素
- 建物や外部環境による対策
 - 暮らし方による省エネ化
 - 地域の環境負荷低減
 - その他
- 片面真壁の部分に断熱材を設置、木格子や無双窓など意匠性と環境に配慮

環境負荷低減対策

- 採用した要素
- 建物や外部環境による対策
 - 暮らし方による省エネ化
 - 地域の環境負荷低減
 - その他
- 高温となる部屋の配置計画

日高の家

埼玉県日高市

平成30年度
地域の区分 第2回评比

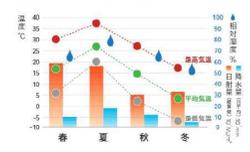
地域の気候風土との対応

建設地がある日高市は良質な西川材を産出する地域の近くに位置している。敷地の南側には川と岸辺の落葉広葉樹が茂る林がある。夏期は南からの涼風が吹き、昼間の外気温は高温になるが夜間から明け方にかけては涼やかな気温になる。

冬期への対応として、主屋側は北側を低く抑え、北側の外壁や窓の面積を小さくすることで熱損失を抑えている。

夏期への対応として、明け方の冷涼な外気を取り入れ、土壁の機能を活用して室内に蓄冷している。

鳩山（近接地）の気候特性



設計者 ビオフォーム環境デザイン室
施工者等 岡部材木店（施工）
竣工 令和2年1月
用途 専用住宅
構造・階数 木造軸組・2階建
敷地面積 395.98㎡
建築面積 58.01㎡（建築率 16.32%）
延床面積 92.37㎡（容積率 25.98%）

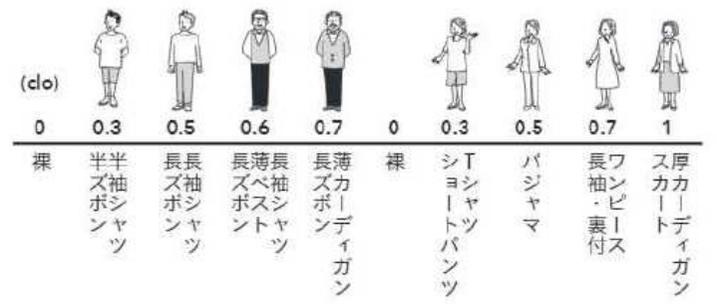


外壁上部を真鍮板葺き、腰部分を杉板葺きとして伝統的な佇まいを継承した外観

事例集作成で注力した部分-室内環境・暮らし方

※4 着衣量 (clo 値:クロチ) とは

着衣の保温性を示す指標です。1cloとは、気温21°C、相対湿度50%、気流0.1m/sの条件で椅子に座り安静な状態で快適と感じる衣服がいい、成人男性では背広を着ている状態に相当します。値が大きいほど衣服による保温性が高くなります。下図はclo値の例です。



出典：建築設計資料集成1環境（昭和53年発行版）
新版 快適な温熱環境のメカニズム（平成28年1月版）

筑波山麓板倉 仮設転用住宅

茨城県つくば市
令和2年度 第1回评比

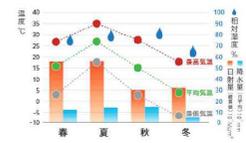
地域の気候風土との対応

建設地は江戸期から続く商家や町屋で形成される街並みや鎌倉時代の用水路などの歴史文化的資源とともに、筑波山麓の森林資源を活用した里山生活文化を継承する地域である。

冬期への対応として、放射冷却による層断的な冷え込みに対し、杉厚板の内装、屋根、壁、床の断熱、杉大和張りの外壁により外気性能の向上を図っている。

夏期への対応として、地蔵の外側に窓戸（しとみど）を設け日射遮蔽効果を高めている。

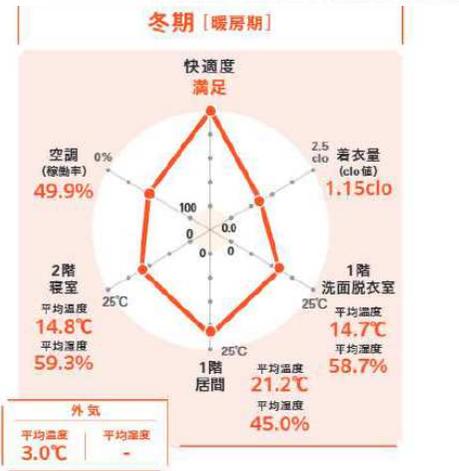
つくばの気候特性



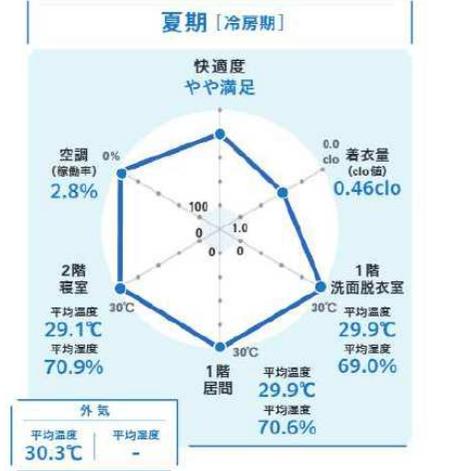
設計者 (株) 里山建築研究所
施工者等 (有) 田宮建設
竣工 令和2年1月
用途 専用住宅
構造・階数 木造軸組・2階建
敷地面積 418.71㎡
建築面積 79.49㎡（建築率 19.98%）
延床面積 116.93㎡（容積率 27.69%）



連続した格子により歴史的な街並みに溶け込む外観



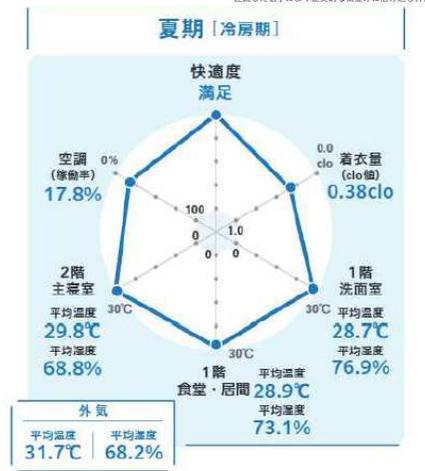
冬期の夜間団らん時の期間平均室温は、居間は約21°Cであるのに対して、洗面脱衣室と寝室は約15°Cであり、6°C以上の室温温度差がある。



夏期の昼間の期間平均室温は、外気温と各室の温度はほぼ同じである。夏期における快適度は「やや満足」である。



冬期の夜間団らん時における期間平均室温は、各室とも18°C~20°Cとなっており、温度差も小さく、満足して暮らしている。



夏期の昼間における期間平均室温は、各室とも外気温より低く、約30°Cとなっており、熱のこもり現象も生じていないと推測できる。

8地域からの提案・構造形式に必ずもこだわらない気候風土適応住宅

RC造＋一部木造 混構造

RC造

木造

No.018-01
10+14の邸
11+14の邸

「こぶきの家」

沖縄県国頭郡今帰仁村

令和2年度 第1回探択
地域の区分 8地域

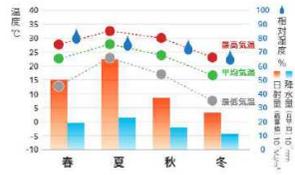
地域の気候風土との対応

建設地がある今帰仁村は亜熱帯海洋性気候で、夏期と冬期の気温差が小さい蒸着地域である。敷地は世界遺産に登録された城跡がある伝統的集落に属する豊かな自然環境に恵まれた地域にある。

夏期への対応として、日差しが強いため、深い庇を設けることで日射遮蔽を図っている。

台風襲来時の強風対策として、鉄筋コンクリート造を主体とする堅牢な混構造とし、飛来物による破損防止のための雨戸を設けている。

名護(近接地)の気候特性



No.018-02
70+90の邸
風と生きる花ブロックの家

沖縄県沖縄市

令和2年度 第1回探択
地域の区分 8地域

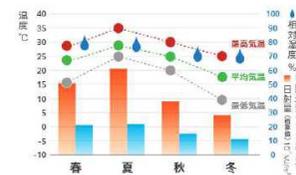
地域の気候風土との対応

建設地がある沖縄市は亜熱帯海洋性気候の蒸着地域で、外部環境が快適温度域内にある反面、台風や塩害、紫外線が著しい地域である。

夏期への対応として、高温多湿な気候に対して、土間コンクリートに断熱材を敷設することで、地中熱により室内で発生する結露を防止している。

多方向から吹く風を取り入れ、地窓や引戸、常時開放窓によって日常空間に常に微風が流れるような開口部の位置を計画している。

那覇(近接地)の気候特性



設計者 松田まり子建築設計事務所
施工者等 (株) 沖秀建設
竣工 令和3年3月
用途 専用住宅
構造・階数 鉄筋コンクリート造・平屋
敷地面積 188.66㎡
建築面積 103.22㎡ (建築率 54.71%)
延床面積 80.20㎡ (容積率 42.51%)

No.018-03
石垣の家

沖縄県石垣市

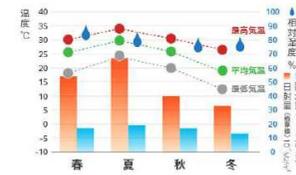
令和2年度 第2回探択
地域の区分 8地域

地域の気候風土との対応

建設地がある石垣市は亜熱帯海洋性気候で、夏期と冬期の気温差が小さい蒸着地域である。敷地周辺は、伝統的集落地区の景観指定を受けた沖縄の言ながらの原風景が残る地域である。

夏期への対応として、自然風を取り入れるため南側に大きな窓と雨簷を設け、東側及び西側に腰窓を設けることで風通しの良い平面計画としている。上部を開放した間仕切り壁による連続した空間構成とし、空気だまりのないよう換気窓を設けている。

石垣島の気候特性



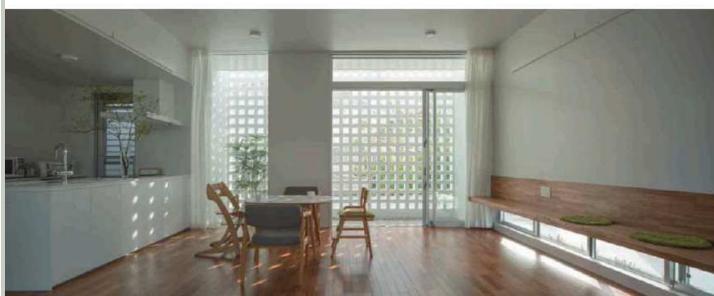
設計者 (有) 門
施工者等 米元建設工業(株)・(有) 概源建材
竣工 令和3年7月
用途 専用住宅
構造・階数 木造軸組・平屋
敷地面積 197.10㎡
建築面積 69.23㎡ (建築率 35.12%)
延床面積 66.24㎡ (容積率 33.61%)



駐車場の軒から雨簷(あまはじ)まで続く水平ラインが強調された外観



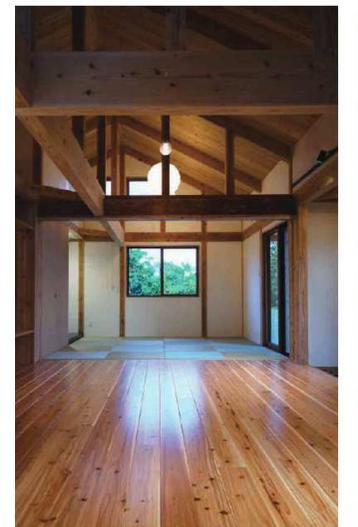
リビングと一体的に設けた雨簷(あまはじ)によってつながる内外空間



白い壁を伝って柔らかな日差しが広がるリビング・ダイニング



花ブロックの格子がデザインされたシンプルな外観



和室とLDKが一体的につながる開放的な室内空間



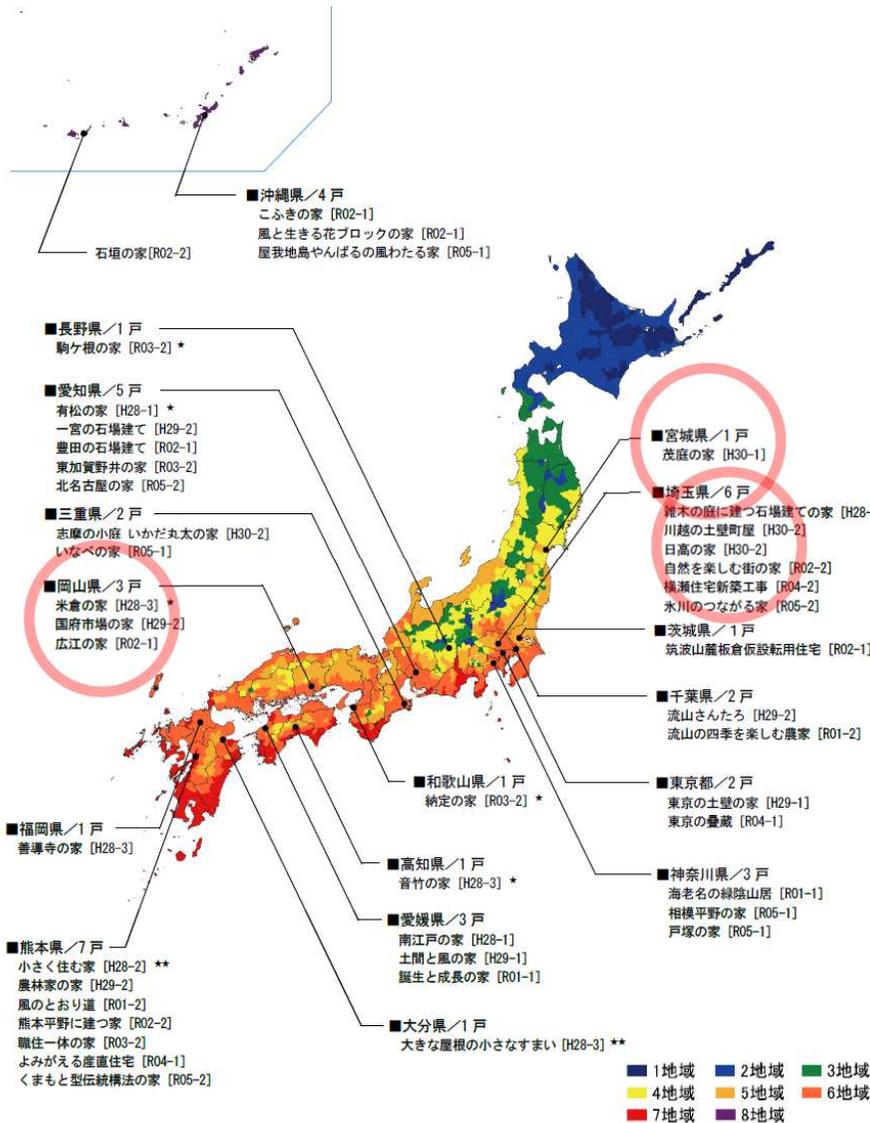
伝統的な集落の景観に調和した外観



内と外をつなぐ深い軒のある雨簷(あまはじ)

事例集掲載住宅 p16~17

本事業採択住宅の対象地域及び戸数 (平成28年度~令和5年度)



★採択後に事業中止等の5件のプロジェクトを含む
 ★★事業中止等となったが建設された2件のプロジェクトを含む

本事業採択住宅の一覧

地方/都道府県	地域区分※1	年度-回	プロジェクト※2	申請代理人 設計事務所・建設会社	プロジェクトに関わった 設計事務所・建設会社・木材店等	プロジェクト コード※3
東北	宮城県	5 H30-1	茂庭の家	一級建築士事務所大角雄三設計室	古道工房(株) 遊佐建築	MG5-01
関東	茨城県	5 R02-1	筑波山麓板倉仮設転用住宅	(株) 里山建築研究所	(有) 田宮建設	IB5-01
		5 H30-2	日高の家	ピオフォルム環境デザイン室	岡部材木店(施工)	ST5-01
	5 R04-2	横瀬住宅新築工事※4	建築主	—	ST5-02	
	埼玉県	6 H28-1	雑木の庭に建つ石場建ての家	(有) 緑部工務店一級建築士事務所	(有) 緑部工務店	ST6-01
6 H30-2		川越の土壁町屋	(株) シティ環境建築設計	(株) 佐久間建設・岡部材木店	ST6-02	
千葉県	6 R02-2	自然を楽しむ街の家※4	(有) 緑部工務店一級建築士事務所	(有) 緑部工務店・大河原木材(株)	ST6-03	
	6 H29-2	流山さんたる	(株) 里山建築研究所	石井工業(株)	CB6-01	
東京都	6 R01-2	流山の四季を楽しむ農家	(株) シティ環境建築設計	(株) 佐久間建設・岡部材木店	CB6-02	
	6 H29-1	東京の土壁の家	(株) シティ環境建築設計	(株) 緑分工務店・岡部材木店	TY6-01	
神奈川	6 R04-1	東京の豊蔵※4	(株) シティ環境建築設計	(株) 佐久間建設・岡部材木店	TY6-02	
	6 R01-1	海老名の緑陰山居	(株) シティ環境建築設計	ヒトキ・岡部材木店	KN6-01	
中部	長野県	4 R03-2	駒ヶ根の家*	一級建築士事務所(有) バジヤン	—	—
		6 H28-1	有松の家*	トヨタダヤシ建築設計事務所	—	—
	愛知県	6 H29-2	一宮の石場建て	水野設計室	岡崎製作所	AI6-01
		6 R02-1	豊田の石場建て※4	水野設計室	船建築(株)	AI6-02
三重	6 R03-2	東加賀野井の家※4	(有) ナチュラルパートナーズ	(有) ナチュラルパートナーズ	AI6-03	
	6 H30-2	志摩の小庭 いかだ丸太の家	mS_architecte 一級建築士事務所	東原建築工房	ME6-01	
近畿	和歌山	7 R03-2	納定の家*	一級建築士事務所(有) バジヤン	—	—
		6 H28-3	米倉の家*	一級建築士事務所大角雄三設計室	—	—
中国	岡山	6 H29-2	国府市場の家	一級建築士事務所(有) バジヤン	浅野工業(株)	OY6-01
		6 R02-1	広江の家※4	一級建築士事務所(有) バジヤン	浅野工業(株)	OY6-02
四国	愛媛	6 R01-1	誕生と成長の家	野の草設計室	野の草設計室・松本建設	EH6-01
		7 H28-1	南江戸の家	(株) 西洲工務店	—	EH7-01
	7 H29-1	土間と風の家	野の草設計室	野の草設計室・東守屋	EH7-02	
高知	6 H28-3	音竹の家*	山本良水建築設計事務所	—	—	
九州	福岡	6 H28-3	善導寺の家	(有) 建築工房悠山楼	(有) 建築工房悠山楼	FO6-01
		7 H28-3	大きな屋根の小さなすまい**	すまいる設計室	香月建築	O17-01
	熊本	7 H28-2	小さく住む家**	すまいる古川設計室(有)	(有) 橋元建設	KU7-01
		7 H29-2	農林家の家	すまいる古川設計室(有)	職工務店	KU7-02
		7 R01-2	風のとおり道	すまいる古川設計室(有)	職工務店	KU7-03
熊本	7 R02-2	熊本平野に建つ家※4	すまいる古川設計室(有)	(有) 橋元建設	KU7-04	
	7 R02-2	職住一体の家※6	すまいる古川設計室(有)	職工務店	KU7-05	
九州	熊本	7 R04-1	よみがえる産直住宅※4	すまいる古川設計室(有)	職工務店	KU7-06
		8 R02-1	こぶきの家	(有) 門	(株) 吉波建設	OK8-01
沖縄	沖縄	8 R02-1	風と生きる花ブロックの家	松田より子建築設計事務所	(株) 沖秀建設	OK8-02
		8 R02-2	石垣の家	(有) 門	米元建設工業(株)・(有) 橋源建材	OK8-03

凡例 ※1 令和元年11月15日に改正された平成28年度エネ基準の地域区分
 ※2 ★がついている住宅は採択後に事業中止等となったプロジェクト
 ★★がついている住宅は事業中止等となったが建設されたプロジェクト
 ※3 プロジェクトコードの読み方 (例) MG5-01
 都道府県を表す文字—地域区分—順番を表す数字
 ※4 建設中又は計画中

本事業採択住宅の一覧